

## 三重県中国ビジネスサポートデスク現地レポート

平成 27 年 2 月 24 日

上海デスク（上海納克名南企業管理諮詢有限公司）

### 中国内陸部での日系企業ビジネス展開

経済成長率の鈍化が見られる中国において、沿岸部に比べ高成長率の継続が期待できる内陸部への日系企業の投資が本格化してきました。

### 中国湖北省武漢市

今回は、筆者が中国赴任以来 3 年半駐在している中国内陸部の湖北省武漢市における日系企業のビジネス状況について、簡単にご紹介致します。

### 東風汽車を中心とした自動車産業の一大集積地

武漢は長江中流に位置し、人口約 1,000 万人で湖北省の省都です。三国演義で有名な「赤壁の戦い」で知られる赤壁も近くにあります。武漢は内陸部（中部 4 省）の中で人口規模が大きく、中部 4 省で最大の商工業都市です。

特に近年は、中国の大手国有自動車会社である「東風汽車（“汽車”は中国語で自動車の意味）」が本社を構え、東風汽車本体に加えて東風汽車と合弁事業を行う日系メーカーを含む海外の自動車メーカーの工場が立地し、日系の自動車部品メーカーの進出も急速に増加しています。

また、左記欄の通り東風汽車の合弁相手のうち、プジョー・シトロエン・ルノーとの各合弁企業の工場が全て武漢に存在することから、フランスの対中投資のうち約 3 分の 1 が武漢への投資となっており、意外にも武漢では駐在日本人数を上回る駐在フランス人が存在しています。またフランス領事館は設置されていますが、日本領事館はまだ存在しません。

### 近年は日系サービス業の進出も増加

上述の通り、武漢に進出する日系企業はこれまで製造業（特に自動車関連企業）が中心でしたが、近年は内陸部の急速な経済成長に伴い、現地消費者をターゲットとした日系サービス業の進出が増加しています。

代表的な例としては、昨年 12 月に開業したイオンモールがあります。筆者の知る限り、イオンモールの武漢進出に伴い、テナントとして入居する日系企業の中にも、中国大陸初出店の場所が武漢である企業も少なくありません。「お値段以上」でお馴染みのニトリも昨年、中国第 1 号として武漢に店舗をオープンしました。なぜ中国初進出

地が可処分所得の高い沿岸部ではなく、内陸部の武漢であるかについて、日本の報道では、内陸部の消費能力は決して沿岸部に劣らない、今後の消費の高い成長性に期待しているからだ、と伝えています。